

社会資本総合整備計画 事後評価

計画の名称 : 「健全かつ良好なまちづくりの形成」

計画期間 : 平成28年度～令和2年度

(都市再生区画整理事業・石井)

坂戸市

社会資本総合整備計画 事後評価

計画の名称	健全かつ良好なまちづくりの形成									
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）	交付対象	坂戸市							
計画の目標	密集市街地やスプロール市街地などの改善を図るため、区画整理事業による建物移転及び街路築造工事などの都市基盤整備事業を実施し、良好なまちづくりを促進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 密集市街地の改善比率の向上 都市基盤が整備された良好なまちづくりの比率の向上 									
定量的指標の定義及び算定式	<ul style="list-style-type: none"> 密集市街地が改善された割合＝建物移転進捗率（小数点以下四捨五入） 当初現況値：561棟（平成28年度当初建物移転累計棟数）／590棟（建物移転全体計画棟数）＝95% 最終実績値：582棟（令和2年度末建物移転累計棟数）／590棟（建物移転全体計画棟数）＝99% 都市基盤が整備された良好なまちづくりの割合＝街路築造工事進捗率（小数点以下四捨五入） 当初現況値：16,584.5m（平成28年度当初街路築造工事累計延長距離）／18,280m（街路築造工事全体計画総延長距離）＝91% 最終実績値：17,833.3m（令和2年度末街路築造工事累計延長距離）／18,280m（街路築造工事全体計画総延長距離）＝98% 									
	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)							
	95%	98%	99%				【平成28年度～令和2年度 交付金執行額】 都市再生区画整理事業 105.873百万円			
	91%	97%	99%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	550 百万円	A	550 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を第三者機関である「坂戸市社会資本総合整備計画に基づく事業等評価委員会」に諮問し、意見聴取をした。	令和3年度 公表の方法 市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	R1	R2				
A13-001	市街地 (都再区)	一般	坂戸市	直接	坂戸市	石井地区都市再生区画整理事業	区画整理 A=70.2ha	坂戸市						550	-	-	
									合計					550			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	R1	R2				
														0			
									合計					0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	R1	R2				
														0			
									合計					0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・土地区画整理事業による建物移転が進捗したことにより、密集市街地の改善が進んでいる。
- ・区画街路の整備が進んだことにより、利便性や安全性が向上し、良好なまちづくりの形成が進んでいる。

II 定量的指標の達成状況	指標 (密集市街地が改善された割合)	最終目標値	99%	目標値と実績値に差が出た要因	建物移転交渉が難航したが、予定していた建物移転がおおむね達成できた。	
		最終実績値	99%			
	指標 (都市基盤が整備された良好なまちづくりの割合)	最終目標値	99%		目標値と実績値に差が出た要因	物件移転交渉が難航したことから、予定していた道路整備が進まず、目標値にわずかに達しなかった。
		最終実績値	98%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項 (今後の方針等)

誰もが快適で住みやすい良好なまちづくりの実現には、土地区画整理事業による建物移転及び街路築造工事など都市基盤整備事業を進めることが必要である。今後も、土地区画整理事業地内の道路、公園をはじめとした公共施設の整備を進め、使用収益開始による土地利用の促進を図る。また、目標未達成の原因として、物件移転の交渉難航が挙げられるが、今後も地権者と粘り強く交渉することで対応する。

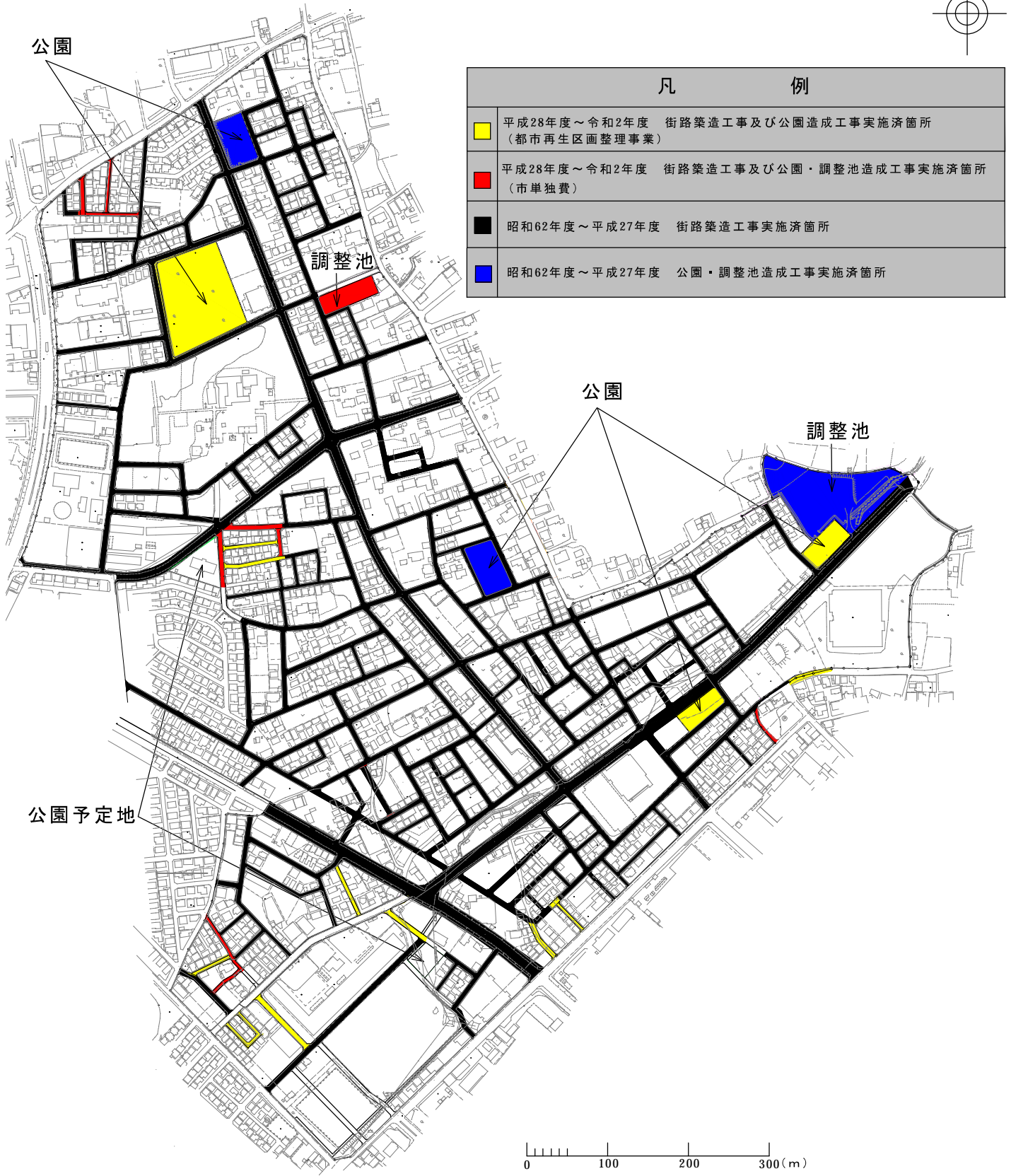
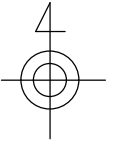
交付金執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
配分額 (a)	40.604	34.677	8	12.185	10.407	105.873
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	40.604	34.677	8	12.185	10.407	105.873
前年度からの繰越額 (d)	0	0	8.9031	0	0	8.9031
支払済額 (e)	40.604	25.7739	16.9031	12.185	10.407	105.873
翌年度繰越額 (f)	0	8.9031	0	0	0	8.9031
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0	0
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h=(g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-	-

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

坂戸都市計画事業 石井土地区画整理事業



凡 例	
	平成28年度～令和2年度 街路築造工事及び公園造成工事実施済箇所 (都市再生区画整理事業)
	平成28年度～令和2年度 街路築造工事及び公園・調整池造成工事実施済箇所 (市単独費)
	昭和62年度～平成27年度 街路築造工事実施済箇所
	昭和62年度～平成27年度 公園・調整池造成工事実施済箇所

公園

調整池

公園

調整池

公園予定地

0 100 200 300(m)